市民ネットワーク http://tokorozawa-net.com/

ところざわ通信

NO. 89 (2018. 5)

発行：市民ネットワーク所沢　〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル 1F-B
TEL/FAX　04-2947-6370　メール: cnet-toko@net.email.ne.jp

『所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり』

７月から条例施行

所沢市議会議員　末吉美帆子
（総務経済常任委員・広聴広報委員・基地対策協議会委員）

「所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例」が可決され、7月から施行されます。市民ネットワークは、障害差別解消、誰もが暮らしやすい合理的配慮のあるバリアフリー社会を提案し続けてきました。条例制定はその一歩です。しかし問題点がいくつかあります。

① 条例は障害差別で紛争が起こった際は「あっせん調整委員会」であっせん案を作成、勧告できるとしています。しかし、こじれた差別事例は相談体制の充実や第三者の調整機能で解決を目指していくもので、あっせんはあくまでも最終手段です。先行する他自治体ではあっせん事例はほとんどありません。そして所沢の場合、地域相談員など仕組みの充実がないのが残念です。

②「手話言語条例」制定が障害者団体から切望されていたにも関わらず、この条例に合体する形で包摂されてしまいました。明石市は手話言語・全障害に関するコミュニケーションを充実する条例を制定しています。所沢市が同じく、手話言語・コミュニケーション条例を単独で制定する社会的意義は高く、条例の分離・単独制定が望まれます。

民間事業者のスロープ設置や筆談ボード、点字メニューなどへの補助金 81 万円が予算化されました。また差別は無知や無理解から生まれることが多く、啓発や研修を積極的に推進し『心のバリアフリー』化も進めてほしいと願います。

障害があってもなくても暮らしやすい所沢をご一緒に作りましょう。

市民ネットワーク所沢からのお知らせ

http://tokorozawa-net.com/

菜の花カフェ （ネット事務所開放日）

◆5 月 25 日（金） 午後1時～3時
◆6 月 25 日（月） 午後1時～3時

今年度から教科化され評価の対象となる『道徳』教科書を読んでみませんか？　フードバンク（1ヶ月以上消費期限がある食品）も募集しています。
事前のお申し込みは不要です。

『市民が語るつどい』

立憲民主党 大河原雅子衆議院議員とこれからの日本を考えましょう！

5月25日(金) 午後 6 時～8 時

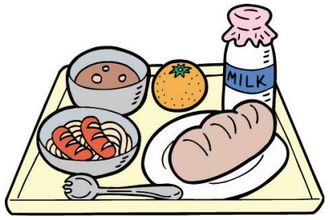
場所　新所沢公民館第一学習室
主催　市民が語るつどい実行委員会
参加費は無料、申込み不要です。
（会場の都合で定員 50 名）

学校給食学習会

5 月 18 日(金) 10 時～12 時

所沢の学校給食について所沢市役所保健給食課の栄養士さんにお話を伺います。12 時～所沢市 HP に公開されている給食レシピで作った給食メニューのプチ試食あり。参加費無料、申込み不要。直接おいでください。

場所　生活クラブ所沢生活館　　主催　所沢地域協議会
問い合わせ　末吉 090-7242-7555　池田 080-6805-2723



あとがき

金沢に住む 84 才の父が運転免許を返納した。
何故か 85 才になったら誰もが強制的に運転してはいけなくなると勘違いをしていることがわかり、そのことを利用した。自主返納すればタクシー代が割引になるよと。
少し騙したかたちにはなるけど、事故のリスクを考えると背に腹はかえられない。
今度帰省したらお気に入りのお蕎麦屋さんへ乗せて行くからね、お父さん。

（市民ネットワーク　古瀬敦美）

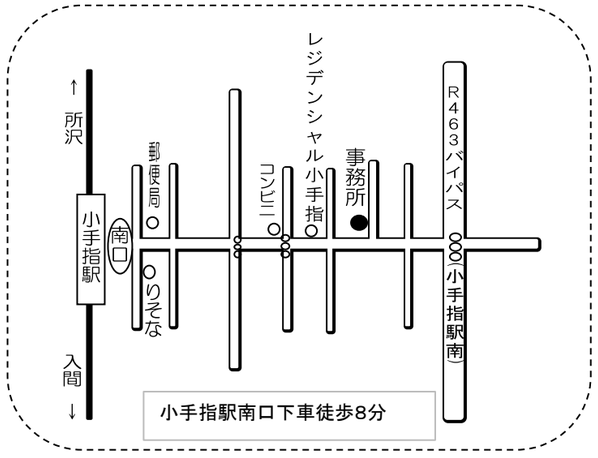
【お問い合わせ・連絡先】
※常駐していません。留守電・FAX でお願いします。

●住所　〒359-1141
所沢市小手指町 4-17-48 光ビル 1F

●電話・FAX　04-2947-6370

●メール　prinmint@shore.ocn.ne.jp （末吉）
cnet-toko@net.email.ne.jp（事務所）

◆ネットの仲間になって一緒に活動しませんか。
年会費 1,500 円　郵便振替口座　00160-6-179015
◆この「つうしん」はボランティアの方が配布しています。購読ご希望の方は定期的に郵送します。どうぞご連絡ください。



「まちの未来図をいっしょに描きましょう！」　「まちを変えるのは私たち市民　私たちのまち私たちの手で」

末吉美帆子の予算特別委員会 報告

2018年度一般会計予算1014億円

ところざわ未来電力の将来性は？

再生可能エネルギーをさらに生み出す取組みこそ必要！

予算案では、10 月に地域新電力会社として設立する（株）ところざわ未来電力（出資金 1000 万円）のうち出資金 51%にあたる 510 万円を拠出します。残り 29%を JFE エンジニアリング、10%ずつを飯能信用金庫、所沢商工会議所が拠出します。

全国で自治体新電力が生まれていますが全てうまくいっている訳ではありません。流動する電力事情の中で厳しい経営状況を迫られています。再生可能エネルギー普及促進は進めるべきですが、民間の経営スキルのない市が経営権を握るべきかが問われます。また、実際に買い取る電力は市内のメガソーラー北野、松が丘のフロートソーラー、東部クリーンセンターの電力では全く足らず、半分以上を埼玉県内他自治体の清掃工場からの電力に頼るものです。

また予算特別委員会の質疑で市内公共施設の電力の多くが新電力会社に切り替わっていることがわかりました。夜間電力など条件により最安値の電力会社が違うため、複数の新電力会社と契約されています。

地方自治の本旨によって、市が設立した会社だからといって理由なく高い電力契約をすることはできないと考えます。実際に乱立する新電力会社と競争力を持てるのでしょうか？また、学校の屋根貸しは進みましたがさらに市内に新たな再生可能エネルギーを生み出すことができるのか具体例が示されていません。

予算特別委員会では、調査期間を設けるため「地域新電力予算 1010 万円」を削除した修正案を可決しましたが、本会議で 15 対 17 で否決されました。再生可能エネルギーはさらに普及すべきです。しかし期待を込めて出資した西部食品流通センターが減資せざるを得なかったように、常に経営はリスクを伴います。 だからこそ、所沢で多くの自然エネルギーを生み出す具体的な仕組みづくりを、市民とともに検討してほしいと思います。ところざわ未来電力に期待を込め慎重に見守りたいと思います。

反対討論から

◆**期日前投票所**の増設について、市民や議会から再三要望されているにも関わらず増設する意思さえ見られない。

◆**中央中学校木質化事業**に関して「無限大の効果がある」と昨年、部長答弁があったが実際の効果を具体的に検証し示してほしい。

◆**全小中学校エアコン設置**に関して、1月の新春のつどいで「検討する」と発表し 350 万円の調査費用を計上した。「いったい今までなんだったのか？」「なぜ今なのか？」の思いが拭えない。『まちごとエコタウン構想』に沿った空調と言うが、電力に頼らず過大な負担ない導入方法はあると再三議会でも提案されてきた。調査一年と言わず速やかに検討し導入時期を早急に明らかにしてほしい。

◆定員割れが続く**第2幼稚園**の今後について再三要望してきたが、遂に「廃園方針に向き合う」と答弁された。今度こそ真摯に向き合ってほしい。

◆廃場になっている第2給食センター跡地（中富）に、現在 9000 食を供給している**第 3 給食センターに代わる新センター**を建設する予算案 6595 万円。これは約4割まで進められてきた自校式給食への転換を遠のかせるのか？自校式導入を含めた再整備計画を求める。

ミホコのつぶやき

４月から重度心身障害福祉手当、福祉タクシー券の改正。最重度障害者１ヶ月 9000 円、重度 5000 円になる。しかし最も重度な障害者の支給額が減額され 10500 円→9000 円に統一された。

市はこれを、あたかも「精神障害者に拡充するために財源が必要」という障害者間に分断を生みかねない説明をしてきた。支給額の統一と精神障害者の立ち遅れた福祉向上は別問題。また一切当事者団体に説明がなかった。半年間、議会で追及してきたが市は激変緩和措置を講じ、部長は「関係者の皆さまに不愉快な思いをさせ申し訳ない」と謝罪した。

この間、障害者間で反目しあわなかった当事者団体に敬意を表する。市は当事者に意見を聴くことを怖れないでほしい。決して既得権益で考える人ばかりではないのだ。障害者に必要で適切な福祉サービスを障害者の立場と目線に立ってこれからも考え、進めていきたい。